

地区職業奉仕委員会活動報告

得居ガバナーの年度要望事項として、綱領の推進と併せて職業奉仕の更なる推進を掲げてくれ、クラブ会員の研修によるクラブのサポートと強化を示してくれました。

地区職業奉仕委員会としましては、得居ガバナーの指導のもとに、「職業奉仕に生きること話し合い語りあおう」のテーマを掲げ、先ずは近隣 2 分区ごと 7 回の委員長セミナーを企画し、その後に各分区ガバナー補佐さんに主催して頂き、14 回のロータリー情報研究会の開催をお願い致しました。

2 分区合同クラブ職業奉仕委員長セミナー

1 回目	第 10 分区+第 11 分区	2012-7-17	ウイシュトンホテル	12RC
2 回目	第 3 分区 A+第 3 分区 B	2012-8-7	五井グランドホテル	13RC
3 回目	第 12 分区+第 13 分区	2012-8-9	茶豆蘭	10RC
4 回目	第 4 分区+第 5 分区	2012-22	ロイヤルヒルズ木更津	14RC
5 回目	第 1 分区+第 2 分区	2012-8-28	市川商工会議所	12RC
6 回目	第 8 分区+第 9 分区	2012-9-7	成田ビューホテル	10RC
7 回目	第 6 分区+第 7 分区	2012-9-14	東金商工会議所	13RC

各クラブから職業奉仕委員長さんを中心に、会長幹事の皆さんや情報委員長の皆さんも交わってくれ、テーブルごとに双方向意見交流ができました。

地区委員がテーブルマスターになって、胸襟を開いた双方向意見交流に傾注しました。当然のこと不慣れから戸惑いや脇道に外れる一時もありましたが、地区委員会が作成し、各クラブ職業奉仕委員長さんに配布をしました、「四つの挿話」を題材に、職業人としての生きざまを意見交流に反映すべき主旨を、ご理解願いました。

我々ロータリアンは職業人として、定款第 8 条の職業分類によって選ばれている誇りを感じて、他クラブの異業種の委員長さんとの職業人としての心構えが、時間経過とともに活発に意見交流ができました。

ロータリー情報研究会

1 回目	第 3 分区 B	2012-9-11	五井グランドホテル	6RC
2 回目	第 12 分区	2012-19	松戸商工会議所	5RC
3 回目	第 1 分区	2012-9-25	市川商工会議所	6RC
4 回目	第 3 分区 A	012-9-28	ホテルニューオータニ	7RC
5 回目	第 7 分区	012-10-7	匝瑳市公民館	4RC
6 回目	第 6 分区	2012-10-12	東金商工会議所	6RC
7 回目	第 8 分区	2012-10-14	多古コミュニティープラザ	4RC
8 回目	第 10 分区	2012-10-16	廣池学園麗澤大学	5RC
9 回目	第 9 分区	2012-10-18	ラディソンホテル	6RC

10 回目	第 11 分区	2012-11-6	ウイシュトンホテル	5RC
11 回目	第 13 分区	2012-11-9	クリアビューホテル	5RC
12 回目	第 2 分区	2012-11-14	フローラ西船	6RC
13 回目	第 5 分区	2012-11-20	鴨川館	6RC
14 回目	第 4 分区	2012-11-28	ロイヤルヒルズ木更津	8RC

各分区のガバナー補佐さんの主催するロータリー情報研究会は、県内のクラブメンバーの方々と直接お会いでき、分区によって土地柄が強く繁栄する生業をもたれた、地域特有の歴史を重く感じる場面が多々ありました。各テーブルマスターはクラブ委員長さんにお願ひ、委員長セミナーで体験された手腕を大いに発揮して頂きました。この目的はクラブ内での双方向意見交流を隆盛にして頂く啓蒙で、会員が生業とする職業に、如何に対峙して社会の為に役立つ思い遣りのある人間性の向上を目指し、クラブ例会に於いて切磋琢磨して頂けるかを、双方向意見交流の柱として構築願ひました。

綱領の理解や四つのテストの活用が、思っていた以上に実践されていて、会員自身の事業所で活用されていたことが新鮮に感じ、改めて職業奉仕の理念の大切さを理解することができたことが嬉しい効果でした。

地区委員会総評

8月から11月までの4カ月をかけて、クラブ委員長セミナーとロータリー情報研究会を開催運営することができ、先ずは主催をして下さった各14分区ガバナー補佐の方々に御礼を申し上げます。またこうした双方向意見交流の場を、各分区で開催する機会を与えて下さった得居ガバナーに感謝をし、硬い絆に結ばれて一緒に活動した4人の委員の皆さんに心からの御礼をお伝えしなければいけないと思います。

一言では言いきれませんが、21回に及ぶ地区委員会活動の中から、多種多様の価値観と言う言葉そのものを体験できた、ものすごく奥行きと幅が或る活動であったと感じています。併せて各分区には素晴らしい仲間がいることが実感され、個性をもった異業種の職業人が集うロータリーの大きさを体感でき、ロータリー活動に新たな価値観を持つこともできました。どこの分区でも、お互い胸襟を開いて職業奉仕について話し合う環境が出来ていないことを痛感することができましたが、クラブ例会でのコミュニケーションの陳腐化が懸念されたことが、今回の委員会活動の双方向意見交流の認識から、真摯にご自身の職業に生きている姿を示し合いできることが証明できました。

こうした生の意見交流を通して、話し合い語り合う価値ある一石を投げられたように自負しているところです。

双方向の意見交流が一方的な発表会になったケースも多々見受けられましたが、双方向意見交流が、自身の意見を発表する習慣と醍醐味を感じてもらえる、効果的な機会であることを認識できたと思っています。

通算して参加された累計人数がクラブ委員長セミナーで凡そ160名、ロータリー情報研究会が1,130名くらいになりますが、これを機会にクラブでの双方向意見交流を盛んにして

頂き、職業奉仕やロータリーを理解し学ぶことを継続することで、一層のロータリーライフが意義あるものに進化できると信じております。

前段として行った2分区ごとの職業奉仕委員長セミナーが、如何に効果的な活動であったか、情報研究会を運営して改めて感じられたことであり、この委員長セミナーの存在がなかったら、情報研究会の効果も半減したかも知れないと心配したほどです。

この運営を通して反省点も多くあって、1テーブルに参加できる人数はできれば6人~7人が最善ではありますが、現実には10名から最大で20名着座した分区もあって、会場設営でご苦勞をされたガバナー補佐の皆さんには予算面のご苦勞もあり、大変に無理なお願になるのが辛いところでもありました。

結果的には、多くの方から双方向意見交流のスタイルをもって、「職業奉仕に生きること話し合い語り合おう」の意味合いを理解して頂き、一言でもって分かりづらいと斜視していた職業奉仕の一端を、多くの方々が自身の頭で考え意見を述べる機会が持てたことに、今回の価値を見出してくれているとのありがたい反響を頂きました。

今回双方向意見交流の一石を投じた波紋が、時間経過とともに成果をもって広がることを期待し、クラブでの実践に少しでも寄与できることを、各クラブ委員長さんに期待をしているところでありますし、毎クラブ例会時に於いてのクラブ委員長さんの奮闘を願ってまいります。

今年、得居ガバナー年度地区委員会活動の波紋が広がり、少しでもクラブ会員の意識高揚とレベルアップに結び付くことを心から念じています。

委員会として主催した7回の2分区ごとのクラブ委員長セミナーと、運営した14回の各分区ロータリー情報研究会は、失敗や反省点も数多くありましたが、予定した事業を完遂できたことに誇りと自信をもってみたいし、翻ってみれば私達地区委員会一同が、最高の幸せ者である立場を与えて頂いたことを悟り、すべてに感謝の念で一杯であります。

胸襟を開いての双方向意見交流によって、職業人としての誇りと自信から、世の為人様の為に役に立つ心得を切磋琢磨させ、その結果が自らの商売繁盛に繋がる職業奉仕の真実は、綱領第2項に書かれているそのものであることを、多くの皆さんと一緒に共有することができた機会であると思います。

改めて、綱領をしっかりと理解し、四つのテストを上手に活用させ、シェルドンが論じた、最もよく奉仕をする者最もよく報いられる奉仕の理想を、是非是非多くのお仲間と共に素直に享受していきたいものです。

地区職業奉仕委員会 2012-12-7